



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 田中 武
- 幹事 門前 庄次郎
- 会報委員長 田中 正躬



秋、早朝の風景 蜘蛛手 康介

<会長の時間>

先週 (17 日) の例会の時に門前幹事により代読して頂きまして、病状報告等させて頂きました。病気で入院したことが無く、何かなんだか分からないうちに退院し、出入り 3 週間が過ぎました。入院し



て思ったことはこれ以上居ると本当の病人になる、ならないにはどうするのか? 常に健康に留意し、健康が一番と常に心がけること、そんな事を思っています。幹事さん初め、副会長の米澤さん、そして会員の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しまして心より御詫び申し上げます。

私の初仕事を今週の 22 日、久々野中学校で出前講座開催させて頂き盛況で終わることが出来ました。青少年育成委員長の小田さん、全体会の講師の伊藤松寿さん、裏方の門前幹事さん始め各講師の井辺さん・井上さん・下屋さん・田中さん・斉藤さん・堺さん・大村さん・中島さん・塚本さん・鴻野さん・挟土さん・山下直哉さん全 16 名、皆さんが子供達に真剣に前向きに語ってくれ、そして子供達も真剣に答えてくれたことと思います、講師役の皆さん大変ご苦勞様でした。ありがとうございます。

又今度の 26 日 (日曜日) 第 29 回飛騨地区 I AC 合同研修会がひだしんさるぼろ倶楽部、サロン棟 2 階にて行われます。それにも参加させて頂きます。大村委員長さん宜しくお願い致します。事務局の中澤さん、門前幹事さん、ご協力宜しくお願い致します。

<幹事報告>

◎社会福祉法人高山市社会福祉協議会より

- ・高山市社会福祉協議会役職員等研修会について(ご案内)

日時 11 月 10 日(月) 13:30~

場所 高山市総合福祉センター 3 階 会議室

◎高山市民憲章推進協議会より

- ・「高山市民憲章推進協議会文化講演会」の開催について(ご案内)

期日 11 月 27 日(木) 18:30~フラワーコンクール表彰式

19:00~文化講演会

会場 高山市民文化会館 小ホール

<受贈誌>

高山 RC (会報)、高山中央 RC (会報)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前回回	休会	のため	補正	ありま	せん
本日	36 名	—	36 名	47 名	76.60%

<本日のプログラム>

向井 公規

10 月 18 日、岐阜グランドホテルにて 12:50 より国旗・地区旗の入場とともに本会議が始まり歓迎の言葉、来賓・招待者・出席者の紹介、および石垣ガバナーのあいさつ、そしてゲイリー RI 会長代理である、松戸ロータリークラブ所属の土屋亮平様からの講演がございました。



地区年次大会報告



「ロータリーに輝きを」とテーマに掲げられているゲイリー会長ですが、輝きをもたらす 3 つのポイントをお話になられました。その 3 つとは① 会員増強 ② 女性会員増強 ③ 楽しいクラブであるということ

①に関しては、家族との時間を犠牲にしないように、家族にも目を向ける必要性を話しています。ゲイリー会長は 8 人家族のようですが、実際その内の 7 名がロータリアンのようです。

②に関しては、奥様に目を向ける事も大切であるという事と、女性を迎え入れる事により華が添えられると共に、会社でもそうですが、現在女性の活躍の場というのが、言われているからだと思います。

③に関しては、①②で増強したとしても、楽しいクラブでなければ退会者が増えてしまうという事でした。

現在、世界で 120 万人のロータリアンがいるようですが、130 万を目標とし、その一つ一つの輝きが集まれば、強烈な輝きになり、RI 会長のテーマでもある、「ロータリーに輝きを」に近づけるとの事でした。

その後、各表彰式が行われました。

ロータリーに輝きを

例会報告

高山にある3つのロータリークラブでは、高山中央ロータリークラブさんは、会長賞、会員増強・拡大賞、意義ある業績賞、ロータリークラブセントラル賞を受賞されていました。高山ロータリークラブさんは、ロータリークラブセントラル賞、我が西ロータリークラブは、米山記念奨学会功労クラブ表彰という結果でした。

授賞式の後に、代表スピーチがあり、米山記念奨学生の中国の呉さん、交換受入学生のガルピンさん、インターアクトクラブの高校1年・2年のそれぞれの学生さんのスピーチがとも思いがこもっており、素晴らしいものであり、若い皆さんから学ぶ事が多かったです。



その後、基調講演が行われ、釧路ロータリークラブの小船井修一さんが、～シェルドンから学ぶロータリーの活性化～という題目で約1時間お話をいただきました。

『シェルドンの思想のお話』と、『時代の変化の対応というお話』の2つの構成でお話をされ、なかなか難しいお話で、全部が理解できなかったというのが正直なところ

ですが、結論から言うと、「原点を忘れずに変化していくことが、企業にとってもクラブにとっても大切なんだ」という事だったと感じます。

シェルドンという方を恥ずかしながら知らなかったのですが、ポール・P・ハリスを助けてロータリーの基礎を確立した3賢の1人で、1950年のデトロイト国際大会で承認された、ロータリーの標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という標語の原型になる言葉を、1910年、ロータリー初のシカゴ大会で掲げた人です。現在では、CRMという「顧客満足度を向上させるために、顧客との関係を構築することに力を置く経営手法」が年々重要度を増しているとされていますが、シェルドンのいう「最もよく奉仕する者」とは「顧客満足度の向上を目指す者」となれば変わらない事であり、約100年前に言ったシェルドンの言葉は、廃るどころか、仕事においても、クラブにおいても現在も生き続けそして重要度を増している、いわば原点であるという事です。次に、原点はもちろん大切ですが、時代が流れ、それに合わせ変化していくことも大切であるという事を、Windows95が登場したことによるパラダイムシフトが起こった事を例にしてお話されていました。

パソコンやネットの普及により、仕事も買い物も、パソコンやインターネットを使ったものにシフトチェンジしており、その理由もあり商店街もさみしくなり、企業の倒産も加速しています。

同じように、ロータリアンの減少も、1996年頃から目立つようになってきています。『最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である』というダーウィンの言葉を引用されており、時代の変化に順応する重要さを仰っておられました。また、先ほどのシェルドンの言葉と、ダーウィンの言葉を重ね『もっとも奉仕したものが、もっとも利益を得る事ができ、もっとも変化できるものが、もっとも生き延びる』と最後にべられました。

1日を通じて、会員の固定化のために、楽しみを見出す事や、原点を大切にしつつも変化に対応する必要というのが印象として強く残っている会議でした。

例会を離れ、各地のロータリアンの方のお話を伺える機会を与えて頂き感謝しております。

下屋 勝比古

10月19日、大会二日目

大会本会議がずっと続いてから少しの休憩をはさんで記念講演は、JR東海代表取締役会長の葛西敬之（かさい よしゆき）氏による「リーダー論」のテーマでご講演いただきました。



内容は、自身が鉄道マンとして昭和38年新幹線開業の前年に入社し、新幹線を中心に鉄道輸送の時代の移り変わりを話され、新幹線開業50年目の今年、大きな



プロジェクトであるリニア新幹線の建設許可が下りたことから始まり、国鉄からJRに移行するまさに時代の大きな変化の真ただ中で指揮をふるったお話でありました。

本当は鉄道の話をしてほしいようで、日本の鉄道は、敷地も列車も駅も工場も研究所も教育機関もすべてを自社で持っている。意外と世界では日本だけのようです。国有鉄道が、赤字経営が加速して膨らみ、ついに民営化をするということになったとき、ほとんどの人が「99%無理」と言ったそう。1%の可能性か100%の滅亡を選択するのか？その中から現在黒字経営を維持するまでには、とんでもない犠牲と苦労があったようです。外科の名医が自分の心臓の手術をできないように、自分の本質的に悪い点は自分では治せない。腐った木に生えた毒キノコはどうしようもならないのと同じだと。大勢の人がかかわる出来上がった組織を崩壊させて再生させるということは、クーデターや紛争しかなく、日本でも大化の改新・明治維新・敗戦の3回しかないであろう。そんな中で古い体質の官僚機関の仕組みを崩壊させ、分割し赤字をなくし黒字へ持ってきたことはそれに類する価値があると自負されていた。

そんな中で、今回はあえて日本経団連の理事として安倍内閣にかかわる立場の物言いをされました。平穏な時代にはリーダーは必要ない。日米安保条約の正当性と必要性。原発再稼働の必要性。安倍政権への期待。など。

問題が出てくると、現実を直視し、課題をあぶり出し、誰もなしえたことのない地図にない道に座標を定め、その道筋に合理性と正当性という名の指針を建て、リーダーが決断をして向かう。実行して進むには安全性を追求するのではなく「捨て身」で突き進む。

また、ちょっかいを出してくる相手にすぐに敵対するのではなく、うまくかわすコツも心得ておられた。

あとは、蒼き・清き・高き三つの心で世界をリードしていこう運転者はバックミラーを見ては運転しない。前をしっかりと見て進んでください。と締められました。

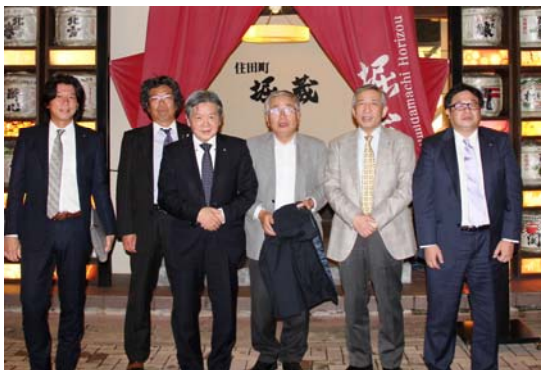
例会報告

塚本 直人

10月18日、19日の二日間、岐阜グランドホテルをメインの会場として、地区大会が開催されました。

我々、高山西ロータリークラブの参加者は高山市役所前に午前8時30分集合し、少々遅れて岐阜市に向かいました。今回は、多治見西ロータリークラブがホストクラブですが、開催地は岐阜グランドホテルでした。昼食会場は由緒正しい日本そば屋さんでした。事情があって一人遅れて参加となった大村さんとそのお店で合流することができました。会場には余裕をもって到着し、ハブニングで遅れた向井さんとも一緒になり、点鐘には参加者全員が揃い、地区大会がスタートしました。

プログラム通りに式は進行し、表彰式では高山中央ロータリークラブが多くの部門で表彰されていました。クラブも活気があり、とても元気な印象を受けました。基調講演は先ほど向井さんが報告された通りですが、特に印象に残ったのは、小船井講師が後半におっしゃった「最も良く奉仕をしたクラブが、最も多く利益を得て、そして最も変化できるクラブが生き残れる」というお話でした。この言葉は我々の経営や人生にも通じるものだと感じました。



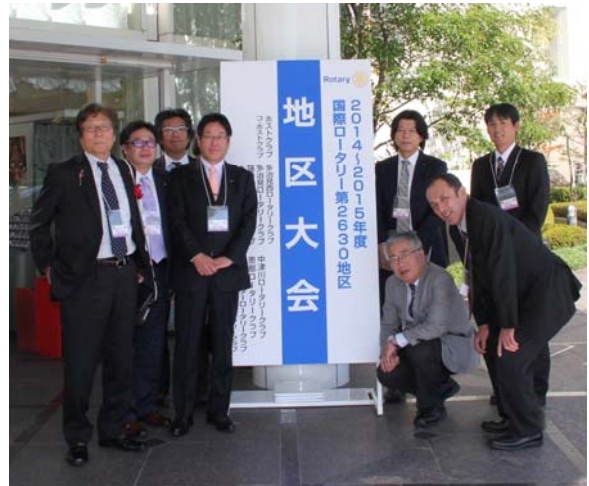
一日目が終了し宿舎にチェックインしてから懇親会の居酒屋に向かいました。楽しく食事をしたのち、内田さんが手配していただいた、素敵なお店での二次会となりました。カラオケの設備もありましたがお店のギタリストの伴奏でみなさん気持ちよく美声を披露されました。珍しい生演奏でのカラオケの体験ができました。



二日目もスムーズに会場入りした後、今大会の来賓の方々のご紹介、そしてお話がありました。みなさん、ユーモアに富んだ楽しいお話をされるので感心致しました。RI会長代理のアドレスのあと記念講演が始まりました。下屋さんが報告されたとおりの非常に勉強になるお話でした。講師はJR東海の葛西敬之さんで、20年近くもJR東海の代表取締役をされている

方ですので貫禄があり、知的で素晴らしい話をされました。日本人として、武士道精神を重んじて人生と仕事に取り組むことを教えていただきました。「武士道とは、死ぬ覚悟で物事を行うことで、そういう気持ちで取り組めば死ぬこともなく、物事はうまくいく」というような言葉をいただきました。こちらの講師のお話もこれからの人生に役立てようと思いました。

あつという間の二日間でしたが、楽しく勉強になる地区大会でした。門前幹事をはじめ、皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。



<ニコニコボックス>

●中田 武さん

本日より例会に出席させていただきます。長い間会員の皆様にはご迷惑をお掛けいたしました誠にお詫言えずに済みませんでした。また張り切って会長の役を務めさせていただきますので、どうかご協力の程宜しくお願いいたします。地区大会の報告楽しみにしています。向井さん下屋さん塚本さん宜しくお願いいたします。

●門前 庄次郎さん

中田会長、退院おめでとうございます。またお世話になります。が無理されない様宜しくお願いします。そして18・19日の地区大会参加頂きました皆様、ご苦労様でした。多少アクシデントもありながら、楽しく行って来られた事に感謝いたします。また、22日の久々野中学校の出勤講座は、小田委員長を初め講師として参加頂きました皆様有難うございました。私は何もしていませんが、生徒たちの真剣な目を見ていて、自分にもそんな頃があったなど、ふと昔がよみがえり良い時間を持てたなど思いました。ご苦労様でした。今日は地区大会の報告です。向井さん下屋さん塚本さん、宜しくお願いします。

●内田 幸洋さん

地区大会の懇親会の二次会は西柳瀬で楽しいライブで盛り上がりました。ありがとうございます。

●平 義孝さん

先日妻の誕生日にお花を贈って頂きありがとうございました。

●中田 晶洋さん

先日18日、高山市福祉フェスティバルで当社の「すまいる訪問看護リハビリステーション」も『コア礼社疑似体験コーナー』を開設し沢山のの人に体験して頂き、市民時報にもカラーの記事を載せて頂きました。スタッフも楽しく参加させて頂きました。

例会報告



●小田 博司さん

22日午後、久々野中学校での出前講座の初陣参加の皆様お疲れ様でした。感想は如何だったでしょうか。分科会全部を廻らせて頂きました。生徒の眼より講師の皆様方の輝いていた眼・姿勢が印象的でした。

●鴻野 幸泰さん

先日の久々野中学校へのキャリア教育授業に出席させて頂き誠にありがとうございました。委員長の小田さん大変お疲れ様でした。



●中島 弘人さん

本日本店長会議のため例会を欠席させていただきます。22日の久々野中学校でのキャリア教育出前講座に参加させて頂きありがとうございました。私の拙い話も一生懸命聞いてくれた中学生に感謝します。



●大村 貴之さん

先日キャリア教育講師として参加し中学生のためになったかは分かりませんが良い経験をさせていただきました。26日は飛騨地区インターアクトクラブ合同研修会があります。田中会長・門前幹事のご出席を宜しくお願いいたします。本日はPTA東海北陸ブロック研究大会のため欠席します。



●折茂 謙一さん

世界的ベストセラー『窓から逃げた100才老人』を読みました。スウェーデンの片田舎の話ですが、登場人物はトルーマン、ドゴール、チャーチル、毛沢東、金日成。スケールが大きく面白さ抜群。読みだすと途中でやめられません。暇があれば是非お読みください。

●米澤 久二さん

田中会長元気でお戻りになり、良かったですね。代行をさせていただき大変勉強になりました。

●山下 明さん、垣内 秀文さん

田中会長、無事退院ご苦労様でした。元気そうでなによりです。あと8カ月です、頑張ってください。

●鍋島 勝雄さん

本日遅刻と早退をさせていただきます。火薬庫の定期検査で無事終了させるため、ゴメンナサイ。田中会長の顔を見てホッとしています。

●狭土 貞吉さん

田中会長の顔が見れて会場が明るくなり良かったです。交通安全大会のため早退します。

●下屋 勝比古さん

出ようとしたら幼稚園からの急患に対応して遅くなりました。スママセン。